



学校文化を未来へつなぐ 「ジャンプ台直し隊」の実践

～身近な学校文化を起点とした探究が社会参画へと広がる学び～

背景・課題

- 白馬村は、北アルプスの自然環境とスキー文化を背景にもつ地域である。
- 本校には、PTAや地域の人々によって受け継がれてきた校内スキージャンプ台があり、長く学校文化の一つとして大切にされてきた。
- 本校では、グローバル・シティズンシップ教育を「自分事として考え、行動する子ども」を育てる学びとして位置付けている。特に、身近な地域を知り、他者と協働し、今できる行動へつなげることを大切にしている。
- 地域文化や施設を「知っている」だけでなく、自分たちが守り、次へつなぐ存在であると実感できる学びが必要であると考えた。

研究目的

- 本研究では、白馬北小学校「ジャンプ台直し隊」の実践を通して、身近な学校文化を題材とした探究的な学習によって、児童がどのように「地域の文化や施設を守り、次へつなぐ担い手」へと変容するのかを明らかにしていく。

GCEDとは…？

グローバル・シティズンシップ教育のこと。本校では、身近な人・地域・世界とのつながりを意識し、よりよい社会に向けて「自分事として考え、行動する子ども」を育てる学びとして捉えている。

GCEDの4視点と実践の実際

本実践は、老朽化により使用できなくなっていた小ジャンプ台を、子どもたちの願いを出発点として修復へつなげていく総合的な学習の時間の実践である。児童は、ジャンプ台の歴史や現状を調べる中で、PTAや地域の人々によって受け継がれてきた学校文化としての価値に気付いていった。その後、募金活動、商品づくり、マルシェ出店、広報活動、企画書作成などに取り組み、学校内の学びを地域へと広げていった。

①自分も友だちも大切に

学年で願いや思いを共有し、スローガンを決定した。募金、工作、フリーマーケット、広報など、自分の得意なことや思いに応じて役割を選び、仲間と協力しながら活動を進めた。
一人では不安だった児童も、友だちと一緒に活動する中で、自分なりの関わり方を見つけていった。

① 自分も友だちも大切に 大切にする

- ・協働
- ・相互理解
- ・包摂

② 地域を知る 学ぶ・伝える

- ・調査活動
- ・対話
- ・発信

②地域を知る・学ぶ・伝える

児童は、ジャンプ台の歴史や現状を調べ、PTAや地域の方から話を聞いた。地域の人々の思いに触れる中で、ジャンプ台を単なる施設ではなく、白馬北小学校と地域をつなぐ学校文化として捉えるようになった。
さらに、企画書やポスター、放送を通して、自分たちの思いを地域へ伝えた。

④できることに取り組む

児童は、小ジャンプ台を修復するために必要な資金や方法を考え、募金活動、商品づくり、マルシェ出店、広報活動などに取り組んだ。
うまくいかない場面でも、振り返りをもとに改善を重ね、「今の自分たちにできること」を考えながら行動した。

④ できることに 取り組む

- ・行動
- ・試行錯誤
- ・社会参画

③ 他地域や世界との つながりにきづく

- ・相互依存
- ・多様性
- ・共感

③他地域や世界との つながりに気付く

校内の活動は、地域の施設、観光客、卒業生、オリンピック、メディアへと広がっていった。児童は、自分たちの願いが多くの人に支えられ、地域の外にも届いていくことを実感した。
ジャンプ台を守る取組を通して、白馬の学校文化が多くの人とつながっていることに気付いた。

学校文化・地域文化
(ジャンプ台)

まとめ

子どもの変容

① 主体性の高まり

「ジャンプ台を直したい」という願いから出発し、募金、商品づくり、広報、企画書作成など、実現に必要な方法を自分たちで考え、行動する姿へと変わっていった。

② 地域理解の深まり

ジャンプ台を単なる古い施設ではなく、PTAや地域の人々の思いによって受け継がれてきた学校文化として捉えるようになった。「白馬北小の誇り」という言葉に、地域への愛着が表れていた。

③ 協働する姿の広がり

自分の得意なことや思いに応じて役割を選び、仲間と協力して活動を進めた。一人では不安だった児童も、友だちと関わる中で、自分なりの参加の仕方を見つけていった。

成果と今後の展望

① 身近な学校文化への探究を「自分事」へ

ジャンプ台という具体的な学校文化を起点にしたことで、児童は活動を「やらされる学習」ではなく、「自分たちが取り組む必要のある問題」として捉えることができた。

② GCEDの4視点の循環的な深化

協働を基盤に、地域を知り、発信を通して外の世界とのつながりに気付く、今できる行動へと向かう学びが生まれた。

③ 社会参画への実感

募金や販売、広報、完成セレモニーなどを通して、児童は「誰かがやる」のではなく、「自分たちにできることをする」という意識を高めていった。